

## 教育委員会 1 月定例会会議録

日時 令和 8 年 1 月 1 5 日 (木) 午後 2 時 3 0 分から午後 3 時 3 9 分まで

場所 市役所 1 1 階北会議室

### 出席者

#### (教育委員)

教育長	吉川 真由美	教育長職務代理者	奈良 知彦
委員	畠山 正文	委員	渡辺 照子
委員	北爪 麻衣子		

#### (事務局)

教育次長	高松 秀光	指導担当次長	酒井 暁彦
総務課長	高橋 良祐	教育施設課長	木村 一弥
文化財保護課長	神宮 聡	学務管理課長	後藤 弘史
学校教育課長	小池 英雄	前橋高等学校事務長	岩瀬 孝弘
前橋高等学校長	高野 裕史	生涯学習課長	宇次 明
教育支援課長	安藤 尚	図書館長	齋藤 明子

【教育長】

これより前橋市教育委員会 1 月定例会を開会いたします。

【教育長】

直ちに 本日の会議を開きます。

【教育長】

1 2 月定例会の会議録については、既に配付済みであります。記載事項に異議等ありませんか。

(異議なし)

【教育長】

異議のないものと認め、承認いたします。

【教育長】

議事は、議事日程第 1 号のとおり進めます。

日程第一。会期の決定ですが、本会議の会期は、本日一日といたします。

【教育長】

日程第二。会議録署名委員の指名ですが、本日の署名委員に奈良委員と畠山委員を指名いたしますので、よろしく願います。

【教育長】

日程第三。教育長提出の諸報告について報告いたします。

## 総括的報告

【教育長】

まず、年末に素晴らしいニュースが飛び込んできました。木瀬中学校の男子駅伝が全国大会で優勝しました。そして荒砥中学校の女子選手も昨年に引き続き非常に良い成績を残してくれました。前橋の駅伝強いぞ、ということを示してくれたと思いますし、また彼らの活躍が、他の中学生また大人にも大きく影響してくるかなと思います。

後ほど報告させていただきますが、はたちのつどいが 1 月 11 日に開催され、70%を超える参加者がグリーンドームに集まってくれました。2 名の方からメッセージをいただきましたが、壇上で胸が熱くなりました。ご参加いただいた委員さんもきっと同じような思いをされたのではないかと思います。

次に、昨年 12 月 18 日木曜日に高校生模擬議会が開催されました。定例となりましたが、市立前橋高校の探究授業の成果発表の場となっています。3 回に分けて実施し、3 回目の講評をする役を預かりました。3 回目の高校生の発表のテーマですが、若手の社会人が朝食をとる割合が低いこと、また家族と一緒に食べる共食が減少していることに注目をしたみんなで朝食プロジェクトや、市内の企業対抗運動会の導入で大人の運動不足を解消していきたいという若者らしいユニークな意見、また若者の流出を抑制するための総合大

学を前橋に設置してほしいという切実な思いもありました。加えて、自立して生活していくための力をつける新カリキュラム、ライフを市立前橋高校に導入してはどうかというお話もありました。これは、今一番不安に思っていることは何ですかと高校生にアンケートした結果、自立をしていくこと、一人で生活していくことに不安を感じるという回答があったことをもとにした提案でした。家庭科とは全然違う前橋独自のカリキュラムで、お金のこと、社会の仕組みなどをもっともっと知りたいというような提案でした。彼らの意見を受け止めながら、学校の中、または外でも取り組めることがたくさんあるのではないかと思いますので、新しいアイデアを私たちの施策の中にも入れていきたいと考えております。毎回、高校生の提案には驚きと刺激があって本当に感動しますが、現状維持ではいけないよと高校の皆さんには伝えていきます。前例踏襲ではなくて、必ず前年の発表を上回るものを目指してほしいと、しっかりと研究して議場に出てきてほしいと伝えていきます。全体的に見ますと、SNSやデジタルを有効に活用してほしいという発表もあって、やはり若者ならではの思いがありました。アナログとデジタルを双方活用しながら、という答弁がありましたが、いやいやこれからはよりデジタルですよと押し返してくる若者がいて、これは今まであまりなかったことです。答弁を聞いて終わることが多かったところで、これからはもっとデジタルに進むのだから行政もしっかりと考えるべきだというような要望につながったものがあり、市立前橋高校頑張っているなという感じがいたしました。

以上でございます。

**【教育長】**

以上の報告について、質疑等ありますか。

**【教育長】**

なければ、以上で質疑を終わります。

**【教育長】**

日程第四。教育長提出の議案を上程いたします。議案第1号及び議案第2号を議題といたします。説明をお願いいたします。

**議案第1号 令和8年4月1日付人事異動方針について**

**【総務課長】**

資料1ページをご覧ください。こちらは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、人事異動方針を決定しようとするものでございます。

2ページをご覧ください。

1の基本方針ですが、職員の適材適所を基本とした異動を実施し、士気の高揚と円滑な事業推進を図り、人事管理の適正化、公務能率の向上を期するものです。

次に、2の具体的方針ですが、(1)の採用については、教育委員会として採用する職員を、アの新規採用職員、イの定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用職員、ウの指導主事等の3区分とし、それぞれ記載のとおり定義づけするものでございます。中でも、ウに記載の指導主事等については、県費負担教職員等からの割愛採用を予定しております。

次に、(2)の配置換えであります。人事評価や意向調査などを参考に、他部局等との交流も積極的に行いたいと考えております。なお、配置換えの対象となる職員の基準につきましては、アからエまでに記載のとおり、在籍年数や職員について配慮すべき状況に

応じて定めるものでございます。

以上の方針に基づき、職員が能力を最大限に発揮し、教育委員会全体の活性化につながるような人員配置に努めてまいりたいと考えております。よろしくをお願いいたします。

## 議案第2号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の改正について

### 【総務課長】

4ページをご覧ください。

1の改正の理由ですが、独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行令に基づき、所要の改正を行うものです。

2の主な内容ですが、2点ございます。5ページの新旧対照表をご覧ください。

1点目は、第1条中の「保護者（以下「保護者等」という。）」を「保護者等」に文言整理するものです。

2点目は、第2条第2項の部分中「前項」を「前項第1号」に改めるとともに、「かわらず、」の次に「小学校、中学校又は特別支援学校の児童又は生徒の」を加えるものです。

現在、学校管理下の事故等による怪我などの医療費を補償するスポーツ振興センター共済制度における掛金の免除対象を、法令の規定にもとづき、義務教育課程の児童生徒に限定しておりますが、規則の規定がこれと合っておりませんでしたので、この2点目の改正により、規則を制度に合わせるものでございます。

4ページにお戻りいただきまして、3の施行期日であります。公布の日とするものでございます。

よろしくご審議のほど、お願いいたします。

### 【教育長】

ただいま提案説明のありました議案について質疑に入ります。ご意見等ございましたらお願いします。

### 【教育長】

なければ、以上で質疑を終了します。

それでは、議案第1号及び議案第2号について、可決することに異議ありませんか。

(異議なし)

### 【教育長】

異議のないものと認めます。

よって、議案第1号及び議案第2号について可決いたします。

### 【教育長】

日程第五。その他について報告事項があります。説明をお願いいたします。

## その他1 行事について

### 【総務課長】

教育委員会の2月定例会でございますが、2月13日金曜日午後2時から、市役所11

階南会議室において開催予定です。（ほか、資料の主だった予定を紹介）

教育委員会の3月定例会につきましては、3月17日火曜日午後2時30分から、市役所11階北会議室で開催予定です。（ほか、資料の主だった予定を紹介）

## その他2 前橋市教育振興基金の活用について

### 【総務課長】

資料8ページをご覧ください。前橋教育振興基金は、1の基金の設置にありますとおり、教育の振興を図るための事業の実施に必要な経費の財源に充てるため、平成24年に設置したものでございます。

2の基金の状況ですが、表の形式になっておりますが、左側の令和6年度末の基金残高は2億600万円ほどで、その下の内訳、原資ですが、過去に寄附を受けた株式の売却益1億5,900万円ほどのほか、遺贈寄附や学校の古紙売却益などがございます。その右側が令和7年度の動きになっておりますが、まず積立として、既に受け入れております遺贈寄附が7,900万円ほど、それから、NTTとの教育情報ネットワーク関連の裁判におきます和解に基づく損害賠償金8,100万円ほどなど記載の予定であり、次に取り崩しとしては、学校の備品や今年度から支給を開始する予定の入学支援金を見込んでおります。この結果、令和7年度の基金残高は、表の一番下のとおり3億6,600万円ほどになる予定となっております。

次に、3の活用実績と広報ですが、これまでこの基金を、記載の施設整備や備品購入の財源としており、広報としては、顕彰プレートの設置や文科省発行物への記事掲載などにより、周知に努めてきたところです。

4の今後の活用予定と活用方針ですが、基金が寄附金を主な原資としていることから、まずは寄附者の意向を最優先として、基金の趣旨に則った使い道を検討したいと考えております。令和8年度におきましては、先ほどお話しした入学支援金などのほか、特別支援学校におけるスクールバスと児童文化センターの送迎用バス、それぞれの購入にこの基金を活用する方向で、現在、予算調整を行っている状況です。今後は、この基金に関する積極的な情報発信はもちろんのこと、関係機関などとの連携強化を図り、この基金を大切にしていきたいと考えております。

## その他3 令和7年度前橋・高崎連携事業文化財展の開催について

### 【文化財保護課長】

資料の9ページをご覧ください。

まず1の内容ですが、本文化財展は、前橋市と高崎市の連携文化財活用事業として平成19年度から毎年開催しており、今年度で19回目となります。

今回は、今年の干支が午であることにちなみ展示タイトルを『馬、来たる！』として、両市で所有している馬形埴輪や古墳時代の馬具、馬に関する考古学資料を紹介します。

会場、開催日時、入場料については、資料に記載のとおりとなりますが、前橋会場は、総社歴史資料館学習室において1月31日土曜日から2月15日日曜日まで月曜日を除き14日間の開催を予定しております。

5の開催チラシは、10ページ、11ページのとおりです。

## その他4 第2期前橋市学校教育情報化推進計画（案）に関するパブリックコメントの実施について

### 【学校教育課長】

1 2月の定例教育委員会では、第2期前橋市学校教育情報化推進計画案についてご審議いただき、ありがとうございました。ご意見等を踏まえて一部内容を修正させていただきました。今後は、策定に向けた最終段階として、市民の皆様からのご意見・ご要望をお聞きするため、パブリックコメントを実施したいと考えています。

資料の3に実施概要を記載いたしました。

(1) 募集期間は2月2日からの約1か月間とします。

(2) 資料の公表は、前橋市ホームページへの掲載、市役所本庁舎をはじめとする各施設での配布を計画しています。

(3) 意見の提出は、市ホームページの入力フォーム、電子メール、施設への持参のいずれかでお願することとします。

(4) パブリックコメント実施の市民への周知は、市ホームページ、広報まえばし2月号にて行います。

(5) 意見に対する回答ですが、パブリックコメント終了後に意見集約と計画案の見直しを行い、市ホームページ、資料の配布施設にて公表する予定です。

## その他5 前橋市高校生模擬議会の実施結果について

### 【前橋高等学校事務長】

資料13ページをご覧ください。

今年度の高校生模擬議会は、1趣旨に基づいて行われ、2開催日程・場所は記載のとおり令和7年12月18日(木)、前橋市議会庁舎議場において、3回に分けて実施いたしました。

3出席者については、市長職務代理者、副市長、議長、教育長ほか記載の方々にご出席いただきました。

4質問形式については、前橋市議会代表質問の形式で行い、生徒作成のスライド資料を、議場のモニターにタブレット端末を用いて投影しながら、1回につき2クラスで6人ずつ、合計で18人の生徒が質問を行いました。

5進行については、14ページに記載のとおりです。

今回の質疑応答は、生徒の質問に対して各部局長が答弁したあとに、生徒が意見や感想などを返答するという形で進みました。

また、各回終了時に、市長職務代理者副市長、議長、教育長より、講評をいただきました。

生徒たちはクラスごとにテーマを定め、1組は福祉・健康、2組は文化・産業、以下国際・ダイバーシティ、環境・建設、科学技術・情報通信、教育分野についての質問を作成いたしました。

答弁いただいた部局長の皆さんには、生徒の質問に対して真摯に受け止めていただき、具体的な事例等を交えながら課題等についてもアドバイスをいただき、大変丁寧で分かりやすい答弁をいただくことができました。

高校生模擬議会は今回で7回目の開催となりましたが、多くの方のご協力により、生徒たちのこれまでの探究学習の成果を示すことができたものと考えております。

## その他6 令和7年度社会教育活動功労者への感謝状の贈呈について

### 【生涯学習課長】

資料の15ページをご覧ください。

本市教育委員会では、社会教育活動において功労のある個人及び団体に対して、毎年度、感謝状を贈呈しております。

関係課及び関係団体から推薦された各候補者について、社会教育活動功労者感謝状贈呈基準に基づき、選考を行った結果、今年度の社会教育活動功労者は資料のとおり、個人25人・団体4団体に決定いたしました。

感謝状贈呈式は、令和8年2月4日（水）午後1時30分から中央公民館において執り行います。

## その他7 令和7年度第3回前橋市社会教育委員会議の開催結果について

### 【生涯学習課長】

資料の16ページをご覧ください。

開催日時、場所、出席者及び議題については記載のとおりです。

結果概要ですが、今回の社会教育委員会議は、図書館の全体研修会に参加後、座談会を行う2部形式としました。第1部として、前橋市の社会教育アドバイザーでもある大正大学牧野篤教授の講演、まちを学びのフィールドに 一図書館の新しい役割を考える一を受講し、第2部では、社会教育委員と牧野教授、井熊ひとみ氏との座談会を行いました。

講演では、図書館を地域の学びの拠点として位置づける視点や、社会教育の新しい可能性について、具体的な事例を交えながらわかりやすくご説明いただきました。

地域に開かれた図書館のあり方や、学びを広げる仕組みづくりについて、多くの示唆を得ることができたと感じております。座談会を実施いたしました。座談会では、社会教育委員の皆様、牧野教授、そして井熊ひとみ氏にご参加いただき、第四期教育振興基本計画に関する考え方や、社会教育主事・社会教育士の制度とその活躍の場について、牧野教授から詳しい説明をいただきました。質疑応答を通じて、社会教育がもたらす効果や、地域における社会教育士の役割、さらに新しい図書館への期待などについて、活発な意見交換が行われました。

委員からの主な意見をご紹介します。

学校運営協議会には公民館職員も入っている。学校と社会教育は対立軸ではなく、幸せに生きるために学ぶ場という意味では、社会教育の役割は非常に大きい。

社会教育とは何か、また生涯学習と社会教育の違いは何かを議論してきた。今日の話を聞き、社会の基盤が抜けてしまっているからこそ、その基盤をきちんと作る必要があると感じた。

新しい図書館づくりに向けて、市民を巻き込んだソフト・ハードの整備をお願いしたいです。具体的には、ボランティアによる読み聞かせスペースの整備や、団体などの活動拠点づくりです。新しい図書館を見据えた取り組みをぜひ進めていただきたいと思います。

## その他8 第60回（令和7年度）前橋市民展の開催について

### 【生涯学習課長】

資料17ページをご覧ください。

前橋市民展は芸術創作活動の成果を公募し、展示することで、広く市民の鑑賞に供し、本市の芸術文化の一層の振興とその水準の向上に資することを趣旨として、毎年度開催しております。

まず、1の開催日時についてですが、美術部門が2月27日（金）から3月1日（日）

までの3日間、書道部門が3月6日（金）から8日（日）までの3日間です。

2の会場ですが、両部門とも昌賢学園まえばしホールの大小展示ホールとなります。

3の入場料につきましては、無料です。

4の主催は、前橋市民展覧会委員会となります。なお、前橋市教育委員会、前橋市文化協会が共催となります。

5の内容ですが、美術部門は平面と立体の2部で構成し、書道部門は漢字、かな、新傾向の3部で構成しております。

両部門とも一般公募作品と前橋市民展覧会委員会の委員等の作品を展示いたします。

詳細は添付の「開催要項・出品規則」をご覧ください。

## その他9 令和7年度優良公民館表彰の受賞について

### 【生涯学習課長】

資料22ページをご覧ください。

公民館等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設を優良公民館として、文部科学大臣及び群馬県教育委員会が表彰しております。

令和7年度においては、2つの公民館が受賞に至りましたのでご報告いたします。

まず、1の令和7年度優良公民館 文部科学大臣表彰ですが、受賞館は上川淵公民館です。テーマは、こどもの体験とチャレンジを応援する地域拠点です。

小学生☆まなび体験講座（体験活動）では、薬剤師の仕事を学ぶ、テレビ局の仕事を学ぶなどを実施しています。また、親子収穫チャレンジ（世代間交流）では、交流と食育を目的に親子で気軽に参加できる収穫体験会を開催するなど、こどもたちを中心とした地域交流や世代間交流にポイントを置いた取組が評価に繋がったと考えております。事業内容については資料23ページのとおりです。

表彰式の予定日時、場所は資料に記載のとおりです。

次に、2の令和7年度優良公民館 群馬県教育委員会表彰は、桂萱公民館が受賞いたしました。特色ある事業は少年教室で、家庭の状況による体験格差を埋めるべく、子供たちが主体的に学ぶ機会として、文化的で実践的な体験講座を開催しています。講座の内容は多岐にわたります。子供たちの興味や社会の変化に応じて毎年内容や方法を工夫と改善を重ね、アンケートや公民館運営推進委員会で委員から出された意見を反映し、講座立案に取り組んだことが、評価されたと考えております。

資料25ページが事例ですので、後ほどご確認ください。表彰式は11月26日に高崎市総合福祉センター2階たまごホールにて執り行われました。

参考として、直近の過去の受賞歴を資料に記載しております。

## その他10 第4回前橋市はたちのつどいの開催結果について

### 【生涯学習課長】

本日配付いたしました資料をご覧ください。

1及び2の開催日時と会場は記載のとおりです。当日は教育委員の皆さまにご出席をいただき、大変ありがとうございました。

次に、3の参加者数は2,321人で、該当者数3,240人に対する参加率は71.6%でした。

4のプログラムについてですが、資料に記載のとおり、3部構成で実施いたしました。

第1部のはたちのまなびでは、二十歳の代表で組織する企画運営委員の若者が作成した、お酒との付き合い方、資産運用、本市のおすすめスポット紹介などの映像を上映しました。

第2部の式典では、主催者挨拶、来賓祝辞のほか、はたちのメッセージにおいて、荒砥中学校出身の大学生で、はたちのつどい企画運営員としてもご活躍されました吉原柚杏さんと第六中学校出身の大学生で、現在プロボウラーとして世界で活躍されている渡辺希哩さんのお二方にお話いただきました。

第3部のはたちのあそびでは景品抽選会を開催しました。本市ホームページでの募集掲載や昨年度協賛いただいた企業への周知、そして企画運営委員が自ら企業を訪問し、ご相談させていただいた結果、多くの企業から賛同をいただき、たくさんの景品をご提供いただきました。

5のその他ですが、式典終了後に隣接する楽歩堂前橋公園において、協力企業によるフォトスポットを設置いただき、若者やご家族での撮影を盛り上げるお手伝いをいただくなど、二十歳の門出を盛り上げるイベントとなりました。

今回のはたちのつどいにつきましては、企画運営委員が積極的に企画や運営を行いました。また、協力企業や来年度企画運営委員となるボランティアの若者など、多くの方々のご支援、ご協力により、盛大に開催することができました。大変ありがとうございました。

**【教育長】**

総務課からの行事予定で、次回の定例会についてですが、2月13日（金）午後2時でよろしいでしょうか。

（異議なし）

**【教育長】**

では、2月定例会については2月13日（金）午後2時からと決定いたします。

また、3月定例会については3月17日（火）午後2時30分から予定することで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

**【教育長】**

では、3月定例会については、3月17日（火）午後2時30分からで、お願いいたします。

ほかに、ただ今の報告について質疑等ありますか。

**【奈良委員】**

12月18日に行われた模擬議会ですが、資料を見ますと、質問にやはり若い目線があり、先ほど教室長さんもおっしゃいましたけども私も驚いています。いい視線、なかなか気づかないところのいい質問があったように思います。ぜひ答弁も知りたいので、あとで教えていただけたらと思います。

**【前橋高等学校事務長】**

答弁を後ほど送らせていただきたいと思います。

### 【奈良委員】

高校生のこういう視点を市の幹部の方々がどう捉え、受け止めてくれたのか知りたいと思いましたので、後で答弁書類を送っていただければと思います。

### 【前橋高等学校校長】

高校生の素朴な疑問に対して、市当局が本当にしっかりとした答弁をしてくださいます。政策をせっかく提案するなら実現できるような提案をと、私から生徒や担当の先生方には伝えていきます。答弁の中では、予算的なことや、もうすでにやっているという答弁もいただいているので、もうちょっと研究が必要かと感じました。

来年度に向けてもうすでに話し合いが始まっており、高校生模擬議会も8年目を迎えますので、内容ももう少しグレードアップしたものにしていかなければならないと思っています。始まりが前橋のまちなかをリサーチして問題点を探して、そこから自分の進路に紐づけながら発表を作っていくこととなります。まちなかりサーチに行くと、だいたい人口減少とか、若者離れとか、そういうところに集中してしまいます。そのため、まず自分の分野を確立させて、自分の分野から何ができるかという提案、探求に来年度は少し移行していこうかなと考えております。実は細谷副市長から、ここで終わらせるのはとてももったいないという話をいただきました。また、今日も福祉部の吉野部長からお電話があって、せっかくこういう発表や色々な考え方があるので、福祉について高校生ができることを少し考えてもらいたいということで、今度打ち合わせをすることになりました。色々な人から評価をいただいたり、できそうだという話もいただいたりしましたので、そういったことを発展させて、これからも探究を進めていければと思っています。

### 【奈良委員】

答弁いただいて終わりではとても寂しいと思います。体験をして、さらに関心を深めていってもらいたいと思います。自分が提案したり質問したことに対してもう少しこの後も深みを持たせて、ここから広げていくという捉え方をすると、高校生の成長につながるし、卒業してからもそういう視点で前橋に関心を持ってもらえるのではないかと思うので、事後の取り扱いもぜひ市立前橋高校の校長先生をはじめ先生方にはお願いできればと思います。要望した以上、私も関心をもって見ていきますので、よろしく申し上げます。

### 【教育次長】

高校生の質問が大変いいとおっしゃっていただいているところなので、質問と答弁について、例えば市立前橋のホームページにアップすることで、市立前橋の魅力的な授業ということで広く市民、全国に知らせていきたいなと思っています。

例えば、多様性住民受け入れ住宅の設置についてということで具体的な話をさせていただきましたと、生徒から、前橋の人口減少が進んでいるという課題から、前橋レジデンス多様性プロジェクトという提案をいただきました。これは、今空いている市営住宅なり空き家などを、多様性というくらいですから外国人がまず最初にあるかもしれませんが、子育て世帯、単身者、高齢者、そういった方々に住みやすいような環境を整えて、多世代が交流していくようなものをどうかという提案でした。都市計画部が所管ですが、それに対して多様な生活様式の人たちが互いに助け合って共存できるような住宅というのは大変素晴らしい視点だと。ただし、多世代、老若男女外国人になってくると、文化、生活習慣が異

なってくるので、その相互理解がまずは重要ではないか、というような指摘をさせていただきました。そして、たまたま12月16日に県内の市町村で初めて居住支援協議会を前橋でちょうど立ち上げたところで、生徒が指摘したことで、我々がやろうとしていることの方向性がちょうど一致しているということで、改めて積極的に生徒たちにご意見くださいということで締めくくっております。

最後にあった要望を、なかなか面白い視点だなと思ってお聞きさせていただきました。例えば、あるテーマがその学年で終わってしまうのではなくて、その次の学年も同様のテーマについて深く掘り進めていくということも面白いと思いましたので、そのあたりについて高校側と協議してまいりたいと思います。

#### 【教育長】

双方にとって刺激が多い高校生模擬議会ですが、奈良委員さんがおっしゃったように、ここがゴールではなくて、例えば予算がないと言われてたとしても予算がない対応の提案も、若者らしい視点でまた考え続けていただくと嬉しいなと思います。行政に対しての提案は、予算がないという回答がほとんどなのではないかと思うので、そういうことも前提にわかっていながら、提案をし続ける若者であってほしいと思いました。

#### 【畠山委員】

事後の話は本当にその通りで、実現していくプロセスに対してどんどんコミットしてもらいたいし、学年を超えて世代を受け継いで取り組んでいくというのはすごく素晴らしいと思いました。一方で、事前のところ、先ほど校長先生から個人の探求の中から出てきたものを、それを反映させて質問にしていくのが良いのではないかというお話で、それもすごく面白いなと思いましたが、議会なので、議員の立場として質問するわけですね。そうするとやはり議員は何が大事かという、民意を背負っていて、その重みで質問をすることはすごく大切なことだと思います。そう考えると、やり方は色々あると思いますが、生徒たちがいっぱいディスカッションをして、その中で、これがいんじゃないか、この政策、この質問面白いんじゃないかとまとめて、その民意を背負って質問に立つというやり方も、民主主義の原点で、そういうあり方も学校教育の中でできたらすごく面白いなと思いました。

#### 【指導担当次長】

総合的な探究の時間という授業で、教育課程に位置づけられた中でどの高校でもやっているのですが、総合的な探究の時間の本当の探究を市立前橋はやっているということです。

義務教育課程では総合的な学習の時間といい、小学校3年生から授業があり探究というのを大事にやっていますが、畠山委員がおっしゃったことはすごく大事で、自分よがりの研究ではなく、まず課題の設定をした後に情報の収集して、整理、分析して、まとめ表現、この4つの探究の過程を大事にしています。協働的な学びを大事にしながら個人の研究をしていくということで、自分よがりにならないようにするというのは本当に大事なステップかと思います。

#### 【教育長】

授業の中でディスカッションをしたものを議場で発表するというのはとても大事かと思いますが、こういうのは発表までの過程にあるのでしょうか。

### 【前橋高等学校校長】

まず一人一人がまちなかりサーチについて各グループで発表し、クラス代表を決めて、学年全体で発表するプロセスを1年生で実施します。2年になると、1人が発案したことについてグループ協議をしながら、それを煮詰めていく作業になっています。そしてそれを公約として、模擬市長選を行っています。基本は個人から発案されたものですが、肉付けはクラスやグループで実施しています。

### 【教育次長】

例えば、新カリキュラムライフの導入について質問をするにあたって、こういったものについて将来的に不安があるかということを生徒自身が生徒から汲み取ってそれを質問にしたというふうになっています。したがって、模擬議会に絞って言えば、これが民意だと思っています。

### 【奈良委員】

はたちのつどいですが、毎年のことですが、代表者のはたちのメッセージが本当に感動します。前橋の教育でこんな立派な二十歳の成人になったのかと感動していますが、ホームページなどにメッセージの掲載はありますか。

### 【生涯学習課長】

後日になりますが、ホームページに編集した動画を掲載します。

### 【奈良委員】

ぜひこれを高校生や中学生にホームルームなど何か時間を作って見せてあげてほしいです。今回は女性2人でしたが、本当にグローバルだと感じました。一人は、一人で海外に行き、それほど英語も得意ではないが行ってみると色々な体験ができたという素晴らしい報告で、もう一人は市立前橋高校卒業生で、ボウリングでかなり有名でしたが、プロボウラーになって世界戦で銀だったけども金を目指して頑張るといふ、これももう世界を見据えていて、今の若者たちは本当にグローバルで、グローバル教育が本当に実ってきつつあるんだなと感じました。自分がはたちになった時どうかなと想像させるのも大事ななと感じました。

### 【教育長】

はたちのメッセージのお2人もすごかったですし、開式の言葉の実行委員長さんの挨拶も感動しました。病気をもちながらも歌手になる夢があるということで、ご挨拶の後にあの2,000人の前で歌い、本当に目頭が熱くなってしまいましたが、いいチャレンジをみんなが共有したすごい場だったなと思いました。ぜひ多くの方に見ていただけないかなと思いますので、私からもよろしくお願ひします。

### 【北爪委員】

22ページの公民館表彰ですが、すごく素晴らしい活動をされていると感心しました。例えば、自分が住んでいる地域の公民館の情報は、公民館報や回覧板などで手に入れやすいものだと思いますが、他の公民館のこういった活動だったり、いいことっていうのは、

何か簡単にホームページでパッと検索ができるシステムのようなものは何かあるのでしょうか。

#### 【生涯学習課長】

公民館報は、各公民館が月1回出しており、各公民館で市のホームページにアップしています。各公民館のページに掲載されているので、全公民館分が一覧でというのは現在ありません。リンクから辿っていただいて、他公民館のページに行ってください必要があります。

#### 【北爪委員】

公民館で講座をやらせてもらった時に、他の地域の方が参加していました。その方にどうやってこの公民館の情報を手に入れたのか教えてもらったら、その公民館の講座に出るたびに、片っ端から次の教室のチラシを全部もらって、参加できそうなところは申し込んでいく。それで色々な公民館を回っているというお話を聞きました。なんとなくデジタルの時代に、もうちょっと行かなくても検索できるようなシステムができたなら、他の公民館の素晴らしいことも拝見することができますし、こういう教室をやっているんだ、じゃあ私も参加できるかもしれないというのも地域の方々が多分すごくいらっしゃると思うので、そういったところが今後できていくといいかなと感じました。

#### 【教育長】

学校教育もそうですが、やはり社会教育の発信も一か所にまとまっているといいなと思います。私たちは公民館もあるし、文化財も素晴らしいものを持っているし、図書館も素晴らしい。大人たちも学び続けて成長し続けられる。そんなまちにするためには、社会教育のプラットフォームっていうのをしっかりと作っていくことも大事ではないかなと思います。

#### 【総務課長】

いわゆる学びの情報をポータル的に集約して皆さんに発信していくというのは非常に重要だと思います。これだけ色々な所属や施設で有意義な事業がありますので、より良いものにして、早めにポータルサイト的なものはできるように引き続き努めていきたいと思います。

#### 【教育長】

行政はどうしても最高のものを作ってから発表するというのがあると思います。一方でアジャイルという考え方があって、まずこれを出してみて、そこで各種意見を聞きながら直していくというのも、この変化の激しい社会の中でのあり方かなと思います。例えば公民館、図書館、文化財が少し分かれていますけれども、それぞれに素晴らしいので、教育委員会の所管として一括に見せるにはどうすればいいとか、研究を引き続きお願いできたらと思います。

#### 【渡辺委員】

25ページの桂萱公民館の自己点検評価等の実施状況の欄を見て、素晴らしい実績が生まれている背景に感心しました。各講座終了時にアンケートを実施し、適度な学習時間や

講座への満足度、期待する内容等の需要を把握し、次の計画に生かしているなど、このようなことを公民館の中でどなたがなさっているのでしょうか。

#### 【生涯学習課長】

講座終了後のアンケートは全ての公民館で実施しています。基本的には担当した職員がアンケートをまとめて、振り返りを行い、所感や課題ということで次の年につなげる形にしております。

#### 【渡辺委員】

社会教育委員会議報告の座談会の部分に、社会教育主事や社会教育士の制度が書かれています。神奈川県にいる知人が、企業の部長を退職した後、公的などところに就職し、市民の関心を集めるような企画を実施しています。80歳に近いですが、さらに更新して人材として活躍しています。なので、社会教育主事や社会教育士は、制度に則って資格もあるような人材だとも思いますが、さらに多様な人材も取り込んで、社会教育の部分が作られていくのも大事なかなと思いました。資格を持っていなくても、それまでの社会経験の中で素晴らしいスキル、人間力を身につけてきていると思うので、そういう方たちが社会教育の場を作っていくということも非常に有効ではないかと考えました。

#### 【生涯学習課長】

今までの経験をフィードバックしたいということで、特にリタイヤした方に市民講師という形で各公民館で活躍いただいている例もあります。今は全ての公民館に社会教育主事はいないので、そういうところは育てなくてはいけないかなと思います。

社会教育士は民間の方も受けられる試験ですので、行政だけではなくて、一般の方にも今までの経験を生かしてご活躍いただけるとというのが一番理想なのかなと思います。

#### 【教育次長】

渡辺委員さんのおっしゃっている民間の方、色々な経験をされた方が活躍されるという部分で、個人的には、資格自体は重要ですがそれがないとダメというわけではないと思っています。今、公民館の職員は資格にこだわっていて、資格取得のために長く公民館にいる職員が多くなっているのですが、市というのは、公民館もあれば税金を扱うところ、人事を司るところなど色々な部署があるので、色々な経験をした職員がまた公民館に戻って事業実施するというのが、私は重要なかなと思っています。リタイヤされた方にご協力いただくということも重要ですし、我々の職員の中でも色々な職場を経験してそれをフィードバックした社会教育をやっていくことも重要と考えておりますので、まさにご指摘いただいた通りかと思っています。

#### 【渡辺委員】

そうすると社会教育というところにより熱量が投入されていくかと思うし、それを市民の人たちが享受して、生きがいを感じたりとか素晴らしい社会教育が行われていくのではないかなと思います。

#### 【島山委員】

社会教育委員会議報告で、社会教育とは何か、また生涯学習と社会教育の違いは何かを

議論されたということで、具体的にどんな議論がされたのか教えていただけますか。

#### 【生涯学習課長】

今、社会教育ビジョンを作成していますが、我々事務局が期限を意識してしまい慌てて前へ前へ進めようとしていたため、牧野教授から、そもそも社会教育とは何かということアドバイザーを含めて話をした方がいいとご助言いただき、この議論となったものです。

やはり生涯学習と社会教育の違いというのが、なかなか分かりづらいというところがあります。生涯学習は、一生涯の中でずっと学んでいることで、社会教育の定義は、学校教育以外での学びという一応法律的な定義がありますが、当然学校教育を受けている中でも色々なところで学びがある、というような話でした。

#### 【畠山委員】

これからも議論していく雰囲気もあるということですね。

社会教育は、なんとというか漠然として抽象的なので、前橋市の中での社会教育はどういうものなのかというのがより明確になっていくというのはすごく大事なことで、色々なことが関わってくると思います。でも前橋ではこれが大切だということ、そういうものが見えてくるとすごくいいなと思いました。

#### 【渡辺委員】

令和7年度優良公民館表彰の2館とも、こどもたちが事業対象者になっています。そうするとこどもたちは学校の教育も受けつつ、社会の中で、公民館でも学びを受ける。しかも、自分の学校だけでなく、他のところから来てる子も一緒になって活動できる。そうになると、社会教育って誰のものと考えたら、大人もこどももみんなというふうに思うので、本当に社会教育というもの、特に前橋市の社会教育がより豊かになっていくと、老若男女にとって豊かな時が生み出されていくと思うので、本当に充実することを願います。

#### 【教育長】

生涯学習に、個人がよりよく生きていくための学びというようなくくりがあるとすると、社会教育は、人と人とのつながりを耕す営みと牧野先生がよく表現をされますが、個が良くなるだけではなくて、そのつながりの中で学び、より良い自分を作り出していくような意味合いがあると思います。そのつながりというものが薄れてきてしまっているがゆえに、今、社会の底が、社会教育が弱くなってきてしまっているの、牧野先生は社会の底が抜けそうだというような提案をされ、社会の基盤が抜けてしまっているというようなことなのかなと思います。なので、自分も学ぶ、だけど人と人と共に学んでいくということが大事なのではないか。そのあたりを前橋の社会教育のビジョンの中にしっかりと私は埋め込んでいただきたいなと思います。自分だけで学んで、それを還元する、あるいは人と人と学び合う、それは同じ世代だけではなくて、若い方、高齢の方、男性、女性、外国の方、多様な方同士が学び合う中で、個も成長していくというような、そういうイメージが社会教育にはあるのかなと私なりに理解をしています。またこのビジョンに関しても、社会教育委員会議またはアドバイザー会議で深めていかれるのだろうなと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 【教育長】

以上をもちまして教育委員会1月定例会を閉会いたします。

(午後3時39分)